

<自主的努力項目記入書式>

提携先	全農千葉県本部	記入日	2010.09.30
登録消費材名	落花生殻付き		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

千葉県内のJAが農家から落花生を集荷して、これを原料として落花生製品を製造しています。生産農家とはJAを通じて栽培契約を締結し、落花生を出荷してもらいます。千葉県産落花生の安定供給を目指していますが、生産農家の高齢化が進み、作付面積の減少等により、年々生産数量が減少しています。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

千葉県の平成21年産落花生の作柄は、千葉県の発表によると「平年並み～やや良」でした。天候に恵まれたこともあり、収量も良く品質も良好でした。これらにより、品質の良い千葉県産落花生の供給することができました。しかし、出荷契約数量を上回る出荷があったため、製品販売と連動した精度の高い出荷契約が課題となっております。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

国産落花生の安定供給をより確かなものとするため、製品販売と連動した精度の高い出荷契約の実施と、生産者ごとの出荷数量の管理を図りたいと思います。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	全農千葉県本部	記入日	2010.09.30
登録消費材名	麦茶ティーバッグ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

焙煎した麦茶の原料を購入する際に、原料の仕入れロット単位で水出しの検査を実施しています。水出しの色の自主基準を設定し、基準外の原料は使用しないこととしています。検査結果は、写真にとり記録を保存しています。また、検査後の麦茶の試飲も実施しています。国産大麦の生産量の減少により、原料不足が心配されることもあったため作付け面積の拡大に努めました。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

大麦の作付け拡大を千葉県内のJA・生産農家に依頼した結果、若干の面積拡大となった。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

生産数量の拡大により、大麦原料の確保と国産大麦を使用した品質の安定した麦茶の供給に努めていきたいと思っています。